

淀川水系山科川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



- 1 説明文
- (1) この図は、淀川水系山科川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の山科川の河道の整備状況等を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により山科川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 京都府 建設交通部砂防課、京都土木事務所
 - (2) 指定年月日 平成30年5月15日
 - (3) 告示番号 京都府告示第271号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
 - (5) 対象となる水位周知河川 淀川水系山科川(実施区間)
左岸：京都市山科区大塚向畑町41番地先から宇治川合流点まで
右岸：京都市山科区大塚向畑町41番地先から宇治川合流点まで
 - (6) 指定の前提となる降雨 山科川流域の2日間の総雨量354.5mm
 - (7) 関係市町村 京都市、宇治市

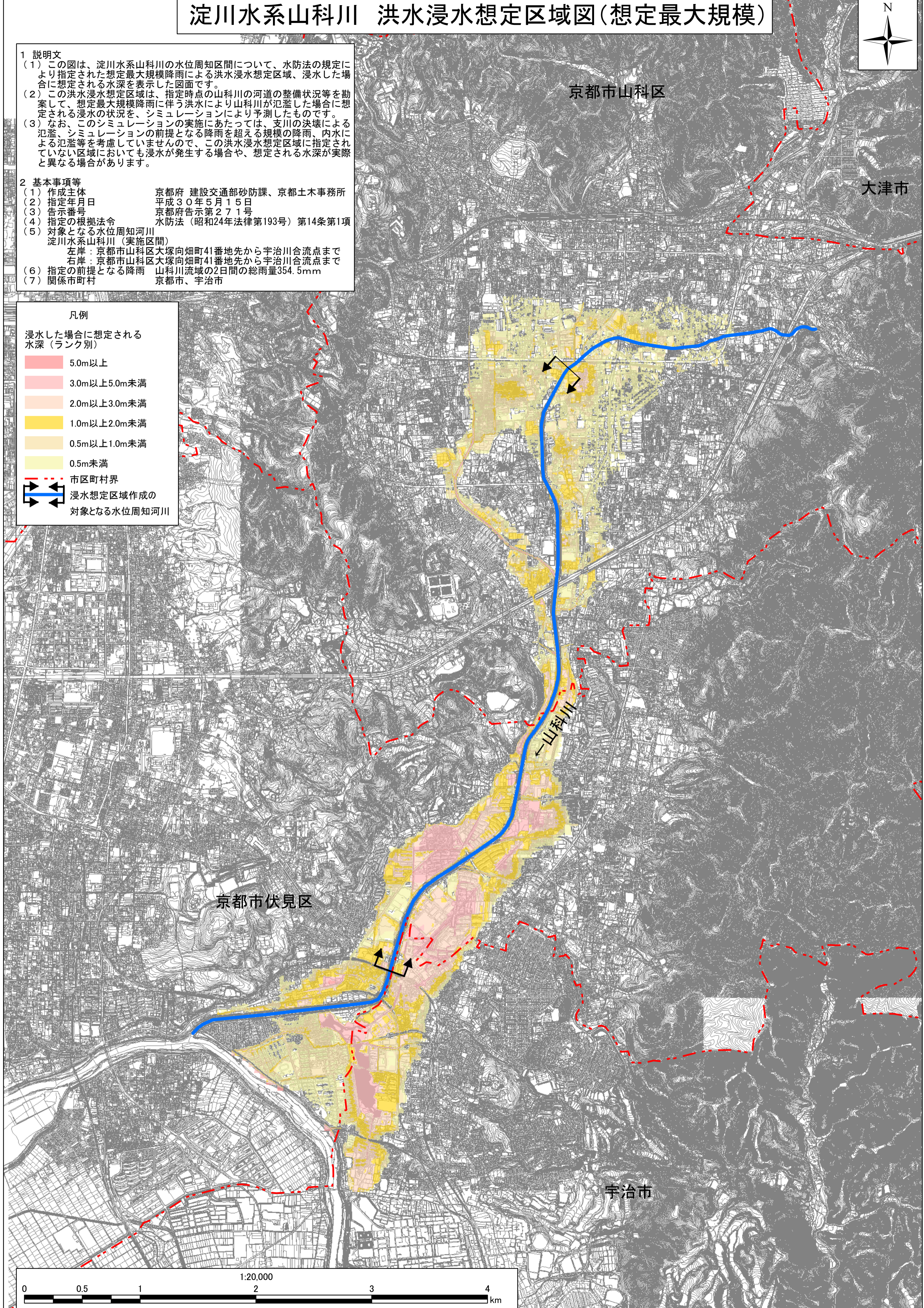
凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m以上
- 3.0m以上5.0m未満
- 2.0m以上3.0m未満
- 1.0m以上2.0m未満
- 0.5m以上1.0m未満
- 0.5m未満

--- 市区町村界

⇄ 浸水想定区域作成の対象となる水位周知河川



この地図は、京都市、宇治市発行の都市計画基本図(縮尺1/2,500)、国土地理院発行の基盤地図情報(基本項目)を参考にし、作成したものです。